あしたを育てる。

住友化学園芸

除草剤

技術資料

オオアレチノギク・メヒシバなどキク科・イネ科雑草に
芝生に使える除草剤　早春の低温時でも効果を発揮
雑草を枯らし芝生をイキイキ育てる
効きめスピードアップ(当社従来品比)
３～７日で枯れ始め　効果約３ヵ月　発芽も抑える

シバニードグリーン®粒剤

Ｑ＆Ａ

商品名	シバニードグリーン®粒剤
登録番号	農林水産省登録 第２２７４５号
成分（含有量）	シアナジン ・・・・・１．０％ ＤＢＮ ・・・・・・・・・０．５％ Ｎ：Ｐ：Ｋ：Ｍｇ 11：８：７：３
性状	淡褐色粒状 1mm～ 3mm
種類名	シアナジン・ＤＢＮ複合肥料
容量	700g

（シバニードグリーンは住友化学㈱の登録商標）

CONTENTS

Q1 **シバニードグリーン粒剤** の特長を教えてください。……2
Q2 有効成分について特長を教えてください。……2
Q3 登録内容を教えてください。……3
Q4 効果のある主な雑草を教えてください。……3
Q5 散布後どれくらいで枯れ始めますか?……3
Q6 スギナに対する試験結果を紹介してください。……4
Q7 除草効果の持続期間を教えてください。……5
Q8 イネ科雑草に対する除草効果を紹介してください。……5
Q9 肥料の効果について教えてください。……6
Q10 **シバニードグリーン粒剤** の安全性情報を教えてください。……6
Q11 散布のコツを教えてください。……7
Q12 使用上の注意点があれば教えてください。……7
Q13 補足事項があれば教えてください。……7

Q1 シバニードグリーン粒剤 の特長を教えてください。

しつこい雑草に ●●●

日本芝内のオオアレチノギク等のキク科雑草や、メヒシバ、スズメノカタビラ等の一年生イネ科雑草、カラスノエンドウ等の退治に効果的です。さらに厄介なスギナにも有効です。

すばやく枯れる ●●●

効果がアップ(当社従来品比)し、散布後3～7日で枯れ始めます。

肥料入り ●●●

雑草を抑えながら芝生を健やかに育てます！

効果は約3カ月続く ●●●

雑草抑制+肥料効果が持続します！

Q2 有効成分について特長を教えてください。

２種類の有効成分により、安定した除草効果を現します。また肥料成分も含有しますので、雑草を退治しつつ、芝生の生育もサポートします。

有効成分①:シアナジン(トリアジン系)

畑地一年生雑草に効果を現す除草成分です。土壌処理することで主に根(茎や葉から少し)から吸収され光合成を阻害して雑草を退治します。

有効成分②:DBN(二トリル系)

一年生のイネ科及び広葉雑草、多年生広葉雑草に効果的です。主に根から吸収され、タンパク質の合成を阻害し、生長点の細胞分裂を妨げ、雑草の発芽や生育を抑制し枯死させます。

肥料成分:N-P-K-Mg＝11-8-7-3

肥効は約３ヵ月持続します。大量要素のチッ素、リン酸、カリに加え、葉緑素の重要な構成成分であるマグネシウムが含まれているので、芝生の葉色を鮮やかにし、光合成を活性化します。

Q3 登録内容を教えてください。

シバニードグリーン粒剤 は、日本芝内に発生するイネ科雑草を含む一年生雑草、多年生広葉雑草に効果があります。また雑草が発生する前に散布することで雑草の発生を抑えます。

【適用雑草と使用方法】

※印は本剤及びその有効成分を含む農薬を年間に同一場所に使用できる総使用回数の制限を示します。

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	総使用回数※	使用方法
日本芝 （こうらいしば）	一年生雑草	雑草発生前～ 雑草発生初期	20～40g/㎡	本剤：3回以内 シアナジン：3回以内 DBN：3回以内	全面土壌散布
	多年生広葉雑草	春夏期 雑草発生前～ 雑草発生初期			

※使用時期は「雑草発生前～雑草発生初期」です。雑草の生育期（大きくなる）になると、除草効果は低下します。
草高の低い時期(目安として5cm以下)に散布すると効果的です。

Q4 効果のある主な雑草を教えてください。

しつこい雑草に： 日本芝内のオオアレチノギク等のキク科雑草や、メヒシバ、スズメノカタビラ等の一年生イネ科雑草、カラスノエンドウ等の退治に効果的です。さらに厄介なスギナにも有効です。

効果のある適用雑草の例

スズメノカタビラ
（一年生イネ科）

メヒシバ
（一年生イネ科）

チチコグサモドキ
（一年生キク科）

マツバウンラン
（一年生ゴマノハグサ科）

カラスノエンドウ
（一年生マメ科）

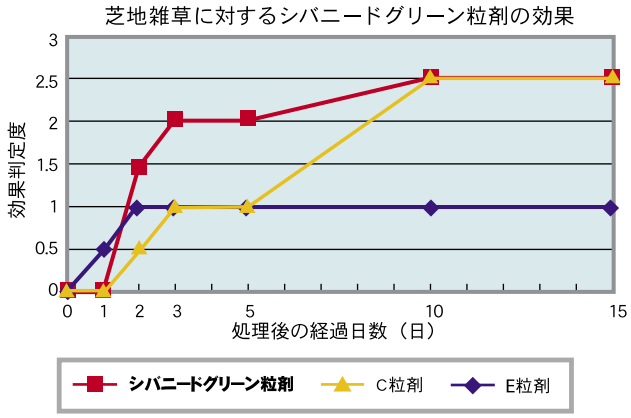
スギナ
（多年生トクサ科）

クローバー
（多年生マメ科）

カタバミ
（多年生カタバミ科）

Q5 散布後どれくらいで枯れ始めますか？

すばやく枯れる： 効果がアップ (当社従来品比) し、散布後3～7日で枯れ始めます。
この試験では **シバニードグリーン粒剤** を散布して2日目から効果が現れ始めました。



※グラフは処理15日後までを抜粋しています。

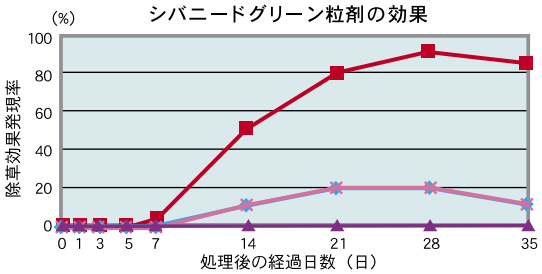
試験期間：2007/6/19～9/17
試験規模：1区1㎡　2反復
処理量：シバニードグリーン粒剤40g/㎡、C粒剤20g/㎡、E粒剤60g/㎡
処理時雑草状況：キク科（オオアレチノギク、ハハコグサ）、カタバミ
草高：5cm以下
処理時概況：2007/6/19 天候 晴れ、地表面温度34.5℃
試験場所：静岡県浜松市 弊社研究開発部製品開発センター芝地

効果判定度(発生初期の試験のため効果発現に枯死も含む)
0：無処理区と同等
1：効果発現開始(枯れ始め、効果発現が僅かでも見られれば)
2：僅か～25％効果発現　　3：26～50％効果発現
4：51～75％効果発現　　5：75～100％効果発現

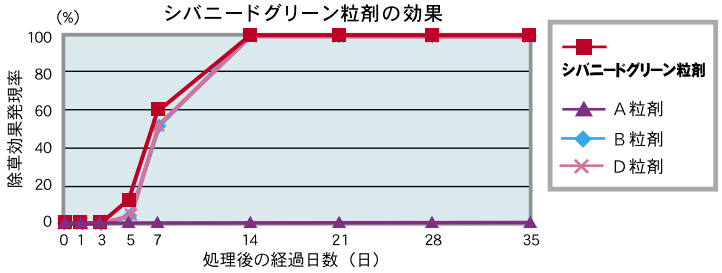
そのほかの様々な雑草についても、１週間以内に効果発現が認められます。

【一年生雑草】

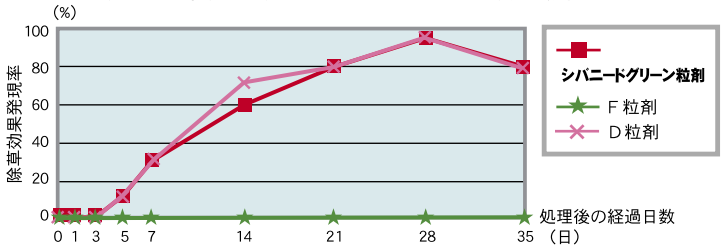
オオアレチノギク（キク科）に対する
シバニードグリーン粒剤の効果



ホトケノザ（シソ科）に対する
シバニードグリーン粒剤の効果

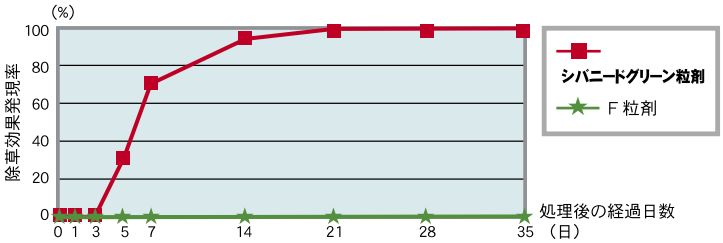


カタバミ（カタバミ科）に対するシバニードグリーン粒剤の効果

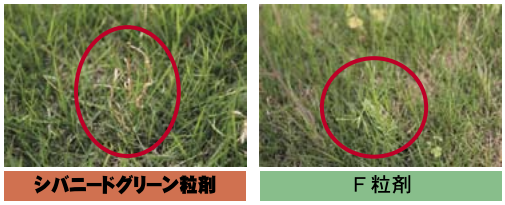


カタバミ　散布13日後

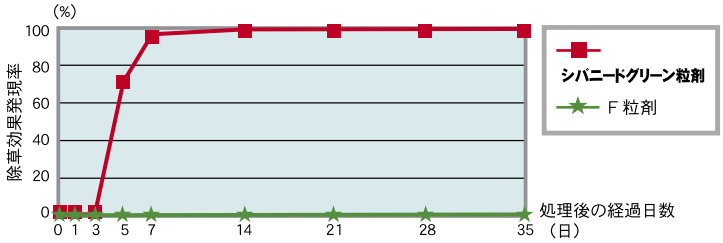
マツバウンラン（ゴマノハグサ科）に対するシバニードグリーン粒剤の効果



マツバウンラン　散布13日後



オランダミミナグサ（ナデシコ科）に対するシバニードグリーン粒剤の効果



オランダミミナグサ　散布13日後

※グラフは処理35日後までのデータを抜粋しています。

※グラフ中の数値は対象雑草を無処理区と比較し、除草効果発現率として0%(正常)～100%(枯死)で判定しました。

試験期間：①2010/3/15～4/19　②2012/4/24～5/29　　試験規模：1区1㎡　2反復

処理量：シバニードグリーン粒剤40g/㎡、Ａ粒剤60g/㎡、Ｂ粒剤40g/㎡、Ｄ粒剤40g/㎡、Ｆ粒剤40g/㎡

処理時雑草状況：①オオアレチノギク(草高：3～5cm程度)、ホトケノザ(草高：10～20cm程度)

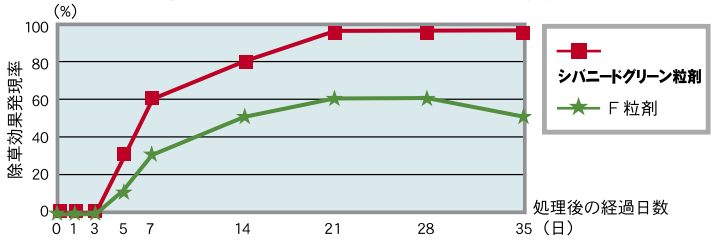
②カタバミ、マツバウンラン、オランダミミナグサ(各雑草とも草高：5cm以下)

処理時概況：①2010/3/15 天候 くもり、気温16.9℃　②2012/4/24 天候 晴れ、気温26.1℃　試験場所：静岡県浜松市 弊社研究開発部製品開発センター芝地

Q6 スギナに対する試験結果を紹介してください。

以下は6月中旬に草高約10cmのスギナに処理した結果です。**シバニードグリーン粒剤**は2週間後にはスギナをほとんど枯らしましたが、Ｆ粒剤は完全に枯らしきれず、その状況は1カ月後以降も同様でした。

スギナ（トクサ科）に対するシバニードグリーン粒剤の効果



※グラフは処理35日後までを抜粋しています。

※グラフ中の数値は対象雑草を無処理区と比較し、除草効果発現率として0%(正常)～100%(枯死)で判定しました。

試験期間：2012/6/20～7/25
試験規模：1区1㎡ 2反復
処理量：シバニードグリーン粒剤　40g/㎡、Ｆ粒剤 40g/㎡
処理時雑草状況：草高：10ｃｍ程度
処理時状況：2012/6/20　天候 晴れ、気温 26℃

以下の写真は4月中旬処理におけるスギナに対する除草効果です。参考にしてください。
シバニードグリーン粒剤は完全に枯らしていますが、Ｆ粒剤は枯れない茎葉が残っていることがわかります。

散布13日後

シバニードグリーン粒剤

Ｆ粒剤

試験期間：2012/4/24～5/29
試験規模：1区1㎡ 2反復
処理量：シバニードグリーン粒剤　40g/㎡、Ｆ粒剤 40g/㎡
処理時雑草状況：草高：5cm以下
処理時状況：2012/4/24 天候 晴れ、気温 26.1℃

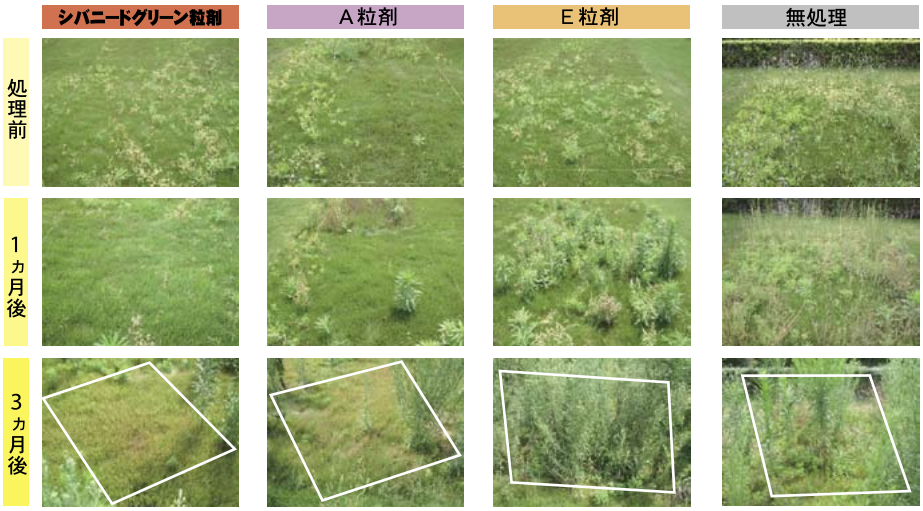
Q7 除草効果の持続期間を教えてください。

● **効果は約3カ月続く：** 雑草抑制＋肥料効果が持続します。

下の表は5月中旬に各除草剤を散布処理した、その後の雑草発生状況です。
シバニードグリーン粒剤の除草効果は約3カ月間持続しました。

5月に散布した場合の雑草発生被度の推移(単位：%)

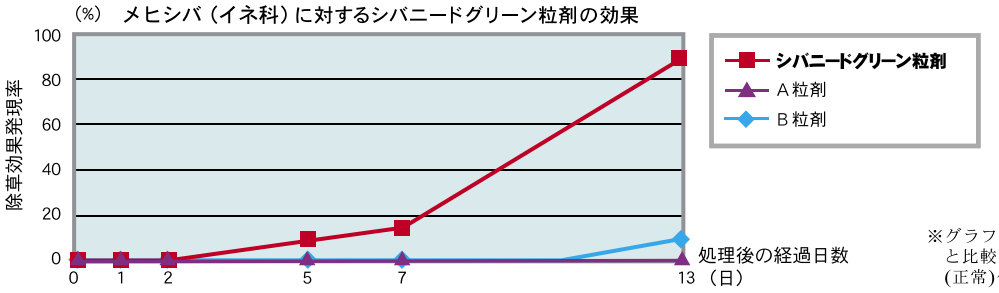
処理後の経過日数(週)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
シバニードグリーン粒剤	20	20	20	10	10	1	1	1	1	1	1	5	10	5	5	5	5	5	5	5
Ａ粒剤	10	20	20	20	20	10	5	5	5	10	10	5	10	5	10	10	10	10	10	10
Ｅ粒剤	20	20	30	30	30	40	40	30	30	30	30	30	80	80	90	90	80	80	80	80
無処理	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	70	70	90	80	90	90	80	80	80	80



試験期間：2008/5/12～2008/9/22
試験規模：1区4㎡(2m×2m)　反復なし
処理量：シバニードグリーン粒剤40g/㎡、
Ａ粒剤60g/㎡、Ｅ粒剤60g/㎡
処理時雑草状況：
カタバミ(草高：5cm程度)
マツバウンラン(草高：20cm程度)
処理時概況：2008/5/18
天候 晴れ、気温22℃
試験場所：静岡県浜松市
弊社研究開発部製品開発センター芝地

Q8 イネ科雑草に対する除草効果を紹介してください。

一年生イネ科雑草の代表であるメヒシバに対する試験事例です。
シバニードグリーン粒剤は散布5日後より効果が現れ始め13日後にはほぼ枯らしきっており、芝生の中のやっかいなイネ科雑草にも効果があることが確認できます。



※グラフ中の数値は対象雑草を無処理区と比較し、除草効果発現率として0％(正常)～100％(枯死)で判定した。

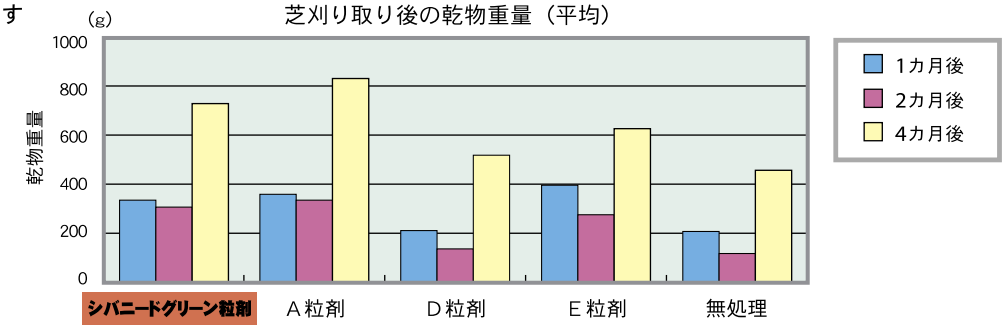
メヒシバに対する除草効果（散布13日後）

※グラフ中の数値は対象雑草を無処理区と比較し、除草効果発現率として0%(正常)～100%(枯死)で判定した。
試験期間：2010/8/23～2010/9/5　試験規模：1区1㎡反復なし　処理量：シバニードグリーン粒剤40g/㎡、A粒剤60g/㎡、B粒剤40g/㎡
処理時雑草状況：メヒシバ　草高：3～5cm　処理時概況：2010/8/23、天候 晴れ、気温30.4℃　試験場所：静岡県浜松市 弊社研究開発部製品開発センター芝地

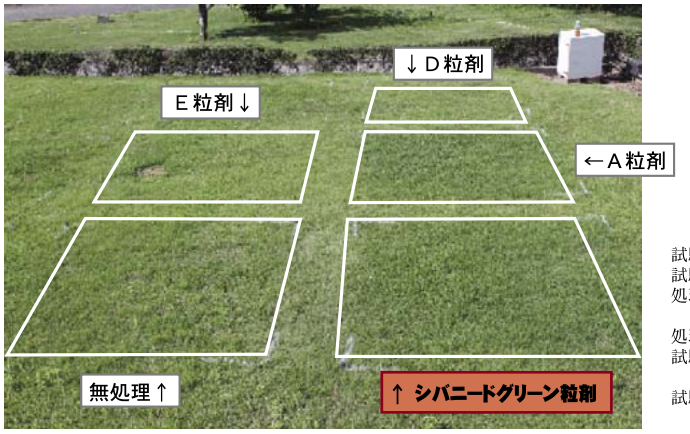
Q9 肥料の効果について教えてください。

肥料入り： 雑草を抑えながら芝生を健やかに育てます！
シバニードグリーン粒剤には肥料成分として大量要素のチッ素、リン酸、カリと葉緑素の重要な構成成分であるマグネシウムがバランスよく含まれていますので、雑草を抑えながら芝生の生育を促し葉色を鮮やかにします。

肥効は約3ヵ月続きます



散布2カ月後
生育状況



試験期間：2010/4/21～2010/9/1
試験規模：1区1㎡反復なし
処理量：シバニードグリーン粒剤40g/㎡、
A粒剤60g/㎡、D粒剤40g/㎡、E粒剤60g/㎡
処理時概況：2010/4/21、天候 晴れ、気温 23.6℃
試験方法：供試薬剤を所定量処理し、処理後1ヵ月ごとにシバを刈り取り、乾物重量を調査した。
試験場所：静岡県浜松市
弊社研究開発部製品開発センター芝地

Q10 シバニードグリーン粒剤 の安全性情報を教えてください。

以下のとおりです。参考にしてください。

●人畜毒性：普通物相当（※1）
●急性経口毒性(※2)ＬＤ$_{50}$：ラット♀ ＞ 2,000mg/kg
●急性経皮毒性(※3)ＬＤ$_{50}$：ラット♂♀ ＞ 2,000mg/kg
●眼刺激性試験：軽度の刺激性あり(ウサギ)
●皮膚刺激性：刺激性なし(ウサギ)
●皮膚感作性：感作性あり(中程度、モルモット)
●水産動植物に対する影響
　コイ　ＬＣ$_{50}$(※4)：430mg/ℓ
　オオミジンコ　ＥＣ$_{50}$(※5)：170mg/ℓ
　藻類　ＥｒＣ$_{50}$(０－７２ｈ)（※6)：2.5mg/ℓ

※1 農薬は毒性の強い順に特定毒物、毒物、劇物、普通物の4種類に分けられます。（普通物は毒劇物に該当しないものを指していう通称です。）
※2 ＬＤ$_{50}$：半数致死薬量。薬物の投与実験で、50%の個体を死に至らしめる薬物量。供試動物の単位重量当りの薬物重量(mg/kg, μg/g)で表す。
（毒物：ＬＤ$_{50}$ 値50mg/kg以下、劇物：ＬＤ$_{50}$ 値50mg/kgを超え300mg/kg以下）
※3（毒物：ＬＤ$_{50}$ 値200mg/kg以下、劇物：ＬＤ$_{50}$ 値200mg/kgを超え1,000mg/kg以下）
※4　ＬＣ$_{50}$：半数致死濃度。薬物を接触させたり、投与する実験で、50%の個体を死に至らせる薬剤濃度。
※5　ＥＣ$_{50}$：一定条件下で供試生物の50%に何らかの影響（生育阻害、遊泳異常など）を起こさせる薬物濃度。
※6　ＥｒＣ$_{50}$：一定条件下で供試生物の50%に生育阻害等を起こさせる薬物濃度。

Q11 散布のコツを教えてください。

［上手な散布の仕方］

・容器を開栓し、そのまま芝生に均一に散布します。
・散粒口を真下に向け、中身を振り出すように容器を20～30cm上下させて70回振ると約20～40g出ます。
・適量を均一に散布しやすいよう、容器の振り出し口はやや小さめになっています。
・散布量過多に注意してください。

Q12 使用上の注意点があれば教えてください。

シバニードグリーン粒剤 の使用上の注意事項です。実際の使用に際しては必ずラベルをよく読んで、記載内容に従ってお使いください。

［ 効果・薬害等の注意 ］

●雑草が大きくなりすぎると効果が劣るので、雑草発生前～雑草発生初期に均一に散布する。
●高温期や異常乾燥時または芝生が弱っている時には使用しない(薬害)。
●砂土では使用しない(薬害)。
●植え付け後や更新作業後の根が傷んでいる時期には使用しない（薬害）。
●西洋芝は枯れるので、使用しない。
●本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意する。

［ 安全使用上の注意 ］

●体調のすぐれない時は散布しない。
●眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける（刺激性）。
●散布時は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換する。作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
●かぶれやすい人は取扱いに十分注意する。
●公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。
●水産動植物(藻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
●水源池等に本剤が飛散・流入しないように十分注意する。
●飛散によって自動車やカラートタンの塗装等へ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意する。
●空容器等は放置せず、環境に影響を与えないよう、良くたたいて中身を完全に出してから適切に処理する。

［ 保管上の注意 ］

飲食物・食器類やペットの餌と区別し、直射日光をさけ、密栓して、小児の手の届かない冷涼で乾燥した場所に保管する。

Q13 補足事項があれば教えてください。

シバニードグリーン粒剤 の使用上の注意事項の補足として以下のような注意事項があります。

高温期の注意：高温期や異常乾燥時、芝生が弱っている時には使用しない(薬害)。

砂土での注意：砂土では使用しない(薬害)。

芝生の状態に注意： 芝生の活着(芝を引っ張っても根が張っていて剥がれにくい状態)が不十分な芝生、生育不良の芝生には使用しない。

散布量・散布方法に注意：散布量が多いと、芝生も枯れるので注意。むらなく均一に散布する。

●草高の高い雑草には効きにくいので注意。雑草発生前や草高の低い時期（目安として5cm以下）に散布する。
(散布時期を失すると、肥料効果によって雑草の生育を促してしまうことがあります）。
●有用植物も枯らす。
●雑草の中には枯れにくい種類（カヤツリグサ科など）もある。
●土壌条件、気象条件によっては効果にむらが生じる場合がある。

あしたを育てる。

住友化学園芸株式会社

〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-5-4
●商品についてのお問い合わせ先　TEL：03（3551）1128（ｲｲﾆﾜ）
（9:30～12:00/13:00～16:30/土、日、祝日を除く）

住友化学園芸ホームページ
eグリーンコミュニケーション®
www.sc-engei.co.jp
植物の気になる症状などから虫や病気を判断し、有効薬剤までナビゲート!
携帯版病害虫ナビはこちらから
http://m.sc-engei.co.jp （通信料がかかります）

この印刷物の記載内容は2012年10月現在の内容です。

12.11.1